

きんもくせい

病院だより

vol.89

令和2年
10月号

10月13日は麻酔の日

麻酔で痛みや苦痛から解放します!

多くの手術では体にメスを入れるため、痛みと大きなストレスを伴います。痛みを感じさせず、ストレスから体を守り、手術を成功に導く。それが麻酔の役割です。

麻酔科というと手術中の麻酔というイメージが強いかもしれませんが、しかし、麻酔科医は、手術を安全に行うために手術中の患者さまの全身状態を維持・管理するだけでなく、麻酔科外来では「ペインクリニック」と呼ばれる痛みの治療も行っています。

当院は引き続き、質の高い麻酔と診療、そして安全に手術を受けていただくため、力を入れて取り組んでまいります。



▲手術室での麻酔科医

診療科から 適切な治療で痛みを和らげ、 患者さまの生活の質の向上を目指します

うちやま ともひろ
麻酔科 診療部長 内山 智浩 医師

10月13日は麻酔の日

緊急事態宣言が発令される中、10年以上前放映されたテレビドラマ「JIN-仁-」の再放送が高視聴率を記録していたことは記憶に新しいところです。

タイムスリップした医師が幕末の江戸でのコロリ（コレラ菌感染症）の流行に遭遇し、それを現代と重ね合わせる視聴者が多かったのでしょうか。ドラマを見進めていくとエーテルの開放点滴法による全身麻酔が行われるシーンがあります。この手法は1846年に米国で行われたものですが、それよりも40年以上も前、1804年10月13日に日本人医師、華岡青洲が通仙散による全身麻酔下の手術に成功しています。実際に記録のある全身麻酔はこれが世界初で、この日を日本麻酔科学会は「麻酔の日」と制定しています。それまで痛み到我慢するしかなかった人々が苦痛から解放された記念日ということになります。

もちろん今はエーテルや通仙散を使ってはいませんが、患者さまが手術を安全にストレスなく過ごされるよう日々努力しています。

苦痛からの解放 〈ペインクリニック〉

苦痛からの解放という点でもうひとつ、私たちが周術期の知識と技術を活かして専門としていることにペインクリニックがあります。ペイン=痛み、ですので痛みの治療です。

痛みはさまざまな病気や怪我で引き起こされるのですが、私たちのところを訪れるのは痛みの原因となる病態が改善しても痛みが残って生活の質（Quality of life:QOL）が低下している患者さまです。

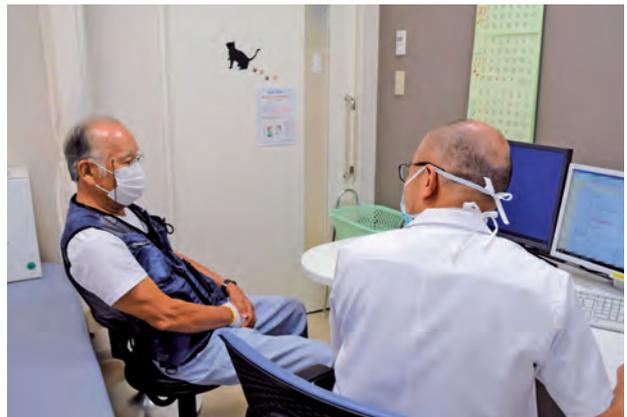
外来受診で多いのは帯状疱疹後神経痛といって水ぼうそうの再帰感染（ウイルスが神経節に潜伏して免疫力が弱くなったときに神経に沿って出てくる）から神経が侵され慢性痛になった方です。しかしながら日本人の大半（80%以上）は何らかの痛みを抱えています。頭痛、肩こり、五十肩、脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなどによる腰痛、軽微な外傷をきっかけにした複合性局所疼痛症候群（Complex regional pain syndrome:CRPS）、術後遷延痛^{せんえん}などが含まれます。自然経過でよくなったり、そもそも手術が必要だったり、私たちの出番は少ないかもしれませんが治療法の選択肢の一つに加えていただければ幸いです。

各種薬物療法（東洋医学を含む）や神経ブロックに加えてインターベンション治療（レントゲンで透視しながらカテーテルなどで治療する方法）にも力を入れていきたいと思っています。

さらに、痛みの治療から進んで緩和医療にも関わっています。がん患者さまの身体的な症状はもちろん、精神的な「つらさ」にも焦点を当てて診療しています。当院にはがんに関する疑問や不安、悩みを相談できる「がん相談支援センター」があります。ぜひお気軽にご相談ください。



▲神経ブロック療法の様子



▲診察の様子



栄養室自慢のレシピも掲載！ ホームページで「透析だより」公開中

栄養室のホームページをご覧になったことはありますか？

その中に「透析だより」というページがあります。

透析を受けている方は、食事の成分や水分などを制限することが多く、定期的に栄養相談を行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため「新しい栄養指導の様式」として当院でもWEBを利用した情報の提供を始めました。

季節に合わせた食事のポイントや栄養不足にならないコツなどのコラム、栄養室自慢のレシピを掲載しています。例えば、「食事制限に配慮した季節の食材の摂り方」「エコバッグを清潔に保つポイント」のコラムや「レンジで簡単に作れるレシピ」「夏バテ予防のレシピ」などを紹介しています。透析患者さま向けではありませんが、塩分を控えている方や栄養不足が気になる方にも為になる情報が満載です！ぜひ、一度ホームページをご覧ください。（右記からアクセスできます）



透析だより

鮭と舞茸の炊き込みご飯

材料 (2合) 3~4人分

精白米	2合
鮭	1切 (約100g)
油揚げ	1枚
舞茸	1房
枝豆 (冷凍でOK)	2粒×12個程度
(A) めんつゆ (2倍濃縮)	70ml
水	約370ml

栄養価 (1人分ご飯170g)

エネルギー	362kcal
水分	182g
たんぱく質	14.1g
カリウム	290mg
リン	200mg
食塩	1.2g

作り方

- ① お米をといいで30分程水に漬け、ざるにあげる。
- ② 油揚げは細切り、舞茸はいしづきを取りほくしておく。枝豆はさやから出しておく。
- ③ 炊飯器にお米と(A)を入れ、油揚げ、舞茸、枝豆を乗せ、最後に鮭を乗せて炊飯スイッチをおす。
- ④ 炊きあがったら、鮭の皮と骨を取って、よく混ぜてできあがり♪

★ポイント★

- ・鮭と枝豆のたんぱく質十きのこのビタミンで免疫力アップ
- ・炊き込みご飯のときは、塩分の少ない揚げ物を合わせるのがおすすめ☆

看護部通信

6階東病棟で看護のやりがいを感じています

6階東病棟は脳神経外科と泌尿器科の混合病棟です。

脳神経外科には脳卒中の合併症により、リハビリを必要とする患者さまや意思疎通の難しい患者さまがいます。私たちはリハビリスタッフと、どのようなリハビリをするのがその患者さまにとって最適なのか相談しながらリハビリの内容を決定していき、日常生活動作を援助することで早期退院につなげています。患者さまの身体機能の回復、体力の向上になるように声かけや日常生活動作の訓練を行っています。

声かけの工夫として、病状により言葉をうまく理解できない患者さまに対しては簡潔に、簡単な言葉に変えて伝わりやすくしています。また、このように工夫しても理解することが難しい患者さまには説明を繰り返したり、伝え方を変えたりしています。

泌尿器科は手術が多く、術後の合併症に注意して観察しています。また、患者さまがどの程度病気や治療について理解しているか、抗がん剤を使用しているために感染しやすくなっている患者さまがマスク装着や手洗い・うがい・アルコール消毒などの感染予防策をとることができているか、患者さまがご自身で確認できるように疾患や治療に関するパンフレットを作成し配布しています。

疾患の特徴上、患者さまの状態が著しく変化しやすく緊張度の高い病棟ですが、私たちの看護で患者さまの出来ることが増えてきたり、辛い状態が改善されたりするととてもやりがいを感じます。そして6階東病棟は、多職種が協働して働ける病棟だと感じます。

6階東病棟 二村 美里

第32回医療市民講座のご案内

皆さまの安全を第一に考え、感染防止対策を講じたくうえで細心の注意を払い開催いたします

定員100名 (予約制・先着順)

入場料無料

◆日 時 令和2年11月28日(土) 午前10時～正午(受付9時30分～)

◆場 所 当院 3階 大会議室

◆演 題 ①「ロコモ対策でアンチエイジング～『せぼね』から考える『歩ける』ということ～」

講師：浦崎 哲哉 医師 (院長補佐兼整形外科診療部長)

②「最新の卵巣がん治療」

講師：田中 晶 医師 (産婦人科診療部長)

③「新型コロナウイルス感染症～当院の対応と対策～」

講師：宮地 正彦 医師 (企業長兼院長)

◆申込み 11月25日(水)までにホームページ専用フォーム、または問合せ先へ電話、FAXのいずれかにて。申込用紙を院内専用BOXにお入れいただいても申し込みできます。申込用紙は院内ほか、市役所等で配布しています。

◆問合せ 経営戦略室 電話：0537-21-5555(代) FAX:0537-28-8971(代)

※最新情報や申込方法など、詳しくは病院ホームページをご確認ください。



詳しくは
病院ホームページを
ご確認ください。

電気設備法定点検による停電のお知らせ

中東遠総合医療センターでは電気設備法定点検を行うため、次のとおり一部停電いたします。

停電日時：令和2年10月25日(日) 午前10時～午後3時 予備日：令和2年11月1日(日)

救急診療は通常どおり行いますが、検査機器等の点検のため、通常よりお待たせすることがあります。また、エレベータについても使用が制限されます。

皆さまには、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解をお願いします。

◆問合せ 管理課施設庶務係 電話：0537-21-5555 (代)

● 医師異動のお知らせ ●

9月1日付 採用

総合内科 大瀬 綾子

よろしくお祈りします



8月の
診療実績

1日あたりの患者数		
入院	361人	
外来	1,148人	
紹介率	80.5%	
逆紹介率	102.0%	
病床利用率	72.2%	
平均在院日数	8.7日	
手術件数	447件	
救命救急センター受診者数	1,423人	
救急搬送件数	487件	

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555

